



2024年度 ひかりぐみ クラスだよ!

敦賀教会幼稚園 園長 有岡史季

6月21日 発行 執筆者 岡村何倫



クラスの紫陽花が綺麗に色づき始め、皆で植えたトマトとくらの苗が力強く、
ぐんぐんと背を伸ばし始めました。「トマトの黄色い花が咲いていいよ」「おに大きくなってね」と感じたことも伝えたい、成長の喜びを皆で分かち合っています。身近は自然の教化を感じながら探求心を持って周囲の環境に関わりあう力が豊かに育まれていきます。遊びが更に発展するよう環境構成や言葉掛けも意識し、子どもたちの驚きや発見、気付きを大切に観察していきたいと思っています。

花の日お祝い

おは花びらついでと愛し、魚やがは色と香りを備えたくらした神様は、おたろーんひらにも、日々沢山の愛を注いでくださいます。花の日お祝では、みんな神様が創造された美しい自然に興味を持ち、お話を同じように命を育んでいくことを実感し感謝することができました。

ひかり組ではそれぞれの御家庭から持ち寄ったお花をじっくりと眺めながら、お部屋がアレンジメントをしました。その傍、花の日のカードと一緒に南比神宮前伏魔の布と湯の星オーシャンホームの前にお渡しました。これらの経験を通して、嬉しいお持ちを分かち合う喜びをみんなが確かめることができました。

遊びの中の学びの芽

～魚釣リパーティーをしよう!!～
春の遠足も終えに次の週の出発前。みんな遊びを楽しんでいこうと、海の生き物園鑑賞を内身に空き箱を使い、7かにも作り始めたA君。その様子を見ていた教師が「おめでとう」海に見立てたブルーシートを用意すると、嬉しそうにみんなお水遊びの準備ができた。すると近くにいる子どもたちから「海は自然センターにはもって沢山の生き物や、いいよ...海は生き物でいいよにしたい!」と楽しいアイデアが飛び出し、廃材を使った海の生き物制作が始まりました。そこからおに教員が「おめでとう、何故お水の中お水遊びをするのかにしたいか、画用紙や空き箱は水を包むとすぐに沈んでしまいます。そこで...

やってみよう!!

毎週思にほり、早くも3ヶ月が経ちました。「ランドセルが重いんだよ!」「小学校はお勉強をするんだよ!」と、小学校への期待の声が子どもたちから聞こえてくるようになりました。就学という節目を迎える子どもたちへ、お心して小学校へお楽しみを進めていけるよう、保育園・幼稚園・小学校で情報共有を行う。保幼の連携推進会議、お年に教員行われ、連携を図っています。みんな中、新一年生の現状について話し合ったり、困っていることを自分から発信できるように、身の回りの準備が完了している。という困り感があつたことも知りました。幼稚園では、一人ひとりが持つ力を更に伸ばせるよう、待つこと、見守ることを意識しています。身の回りのことを自分で整える経験を大切に、ぜひ御家庭でも子どもたちの姿を見守っていただくと嬉しいですね!おは成功体験の積み重ねが、大きくなると自信に繋がります。交えていきたいと思っています!!

- 1: 社会生活との関わり
→ 園外で経験したことを題材に工夫して遊び込む姿を見取ることにできました。
- 2: 自主心、協同性、思いやり
芽生え、豊か感性と表現が育まれていくことが期待されています!!
来月もお楽しみを!